

# 第9回人間科学研究フォーラム

## 概要

人間科学部では、「人間」にかかわる研究を進める他学部、センター等の教員及び地域の自治体・企業・施設等と連携した研究体制を構築することにより、地域で生活する人々がかかえる様々な問題の解決に向けて研究活動の活性化を推進するため、「人間科学研究フォーラム」を開催することとしています。第9回目の今回は4年ぶりに、対面で会場開催（オンライン併用）となりました。2021度から新研究科の人間社会科学研究科が開設しており、今回も法文学部のご協力をいただいた開催となりました。

はじめに、株式会社ローカルガバナンスの寺本英仁代表から、「日本の田舎を元気にする」と題して基調講演があり、日本各地での実践例を基に地方創成のカギとなる戦略をいかにして立てるのか、また、それを支える人材の求め方や展開する組織づくりのポイントを紹介していただきました。

次に、人間科学部及び法文学部の教員により、これまで行ってきた研究に関する発表が行われました。人間科学部身体活動・健康科学コースの鶴永陽子教授からは、「地域の未利用資源を活用したヘルスケア製品の開発」と題し、クリの渋皮、豆乳とカキ‘西条’を利用した製品開発について発表していただきました。法文学部法経学科経済分野の藤本晴久准教授からは、「VUCA時代と地域資源を活用した地域づくり」と題し、将来の予測が困難な状況のこの時代に地域経済づくりをするための意思決定の手法について、島根県内の実例を検証例として発表していただきました。

## 記

日 時：令和5年9月1日（金） 14：00～17：00  
会 場：島根大学松江キャンパス 教育学部・人間科学部棟 20番教室  
（同時にZoomによるオンライン開催）

テーマ：「予測困難な今、地域で何ができるのか～地域資源の活用と地域活性～」

### 【講演会】

#### 基調講演

「日本の田舎を元気にする」

株式会社ローカルガバナンス 寺本 英仁 先生

#### 話題の提供

1. 「地域の未利用資源を活用したヘルスケア製品の開発」

島根大学人間科学部身体活動・健康科学コース 鶴永 陽子 教授

2. 「VUCA時代と地域資源を活用した地域づくり」

島根大学法文学部法経学科経済学分野 藤本 晴久 准教授